


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和3年2月10日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第6号	質問議員	10番	遠藤 和秀	
件名	脱炭素社会の実現化の考えは				
要 旨					
<p>近年では、二酸化炭素の排出量を減らしていくことを目標とする低炭素社会から、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目標とした脱炭素社会に向かい始めている。対策なしだと地球温暖化が社会に大きな影響を及ぼし、異常気象災害(大型台風・ゲリラ豪雨・竜巻等)が加速すると言われている。</p> <p>温室効果ガスのうち、大きな割合を占める二酸化炭素は、年間280億トンが人為的に排出させており、そのうち248億トンが吸収され残りの32億トンが毎年大気中に蓄積されていき地球温暖化を進行させると言われている。排出量と吸収量を均衡させなければならないと考える。</p> <p>化石燃料の利用による二酸化炭素の排出量を可能な限り減らし、脱炭素社会を実現することが、地球環境を守るために重要である。</p> <p>国では、2050年までに温室効果ガスを80%削減することを掲げているが、このことの実現には国だけではなく市町村の取り組みが、必要であると考えます。そこで質問する。</p> <ol style="list-style-type: none">1 当町は、ゼロカーボンシティに向かう政策の策定をする考えがあるのか。2 住民も協力できる創エネに、太陽光発電がある。当町では以前に補助金を出し推進していたが、現在は無くなっている。このような再生可能エネルギーが必要とされている時に、補助金制度を無くした要因は。3 建設を予定している公共施設の省エネ対策等の考えは。4 樹木は二酸化炭素を必要とし、吸収量を減らさぬようにする必要がある。森林面積の多い当町にあっては、森林の管理が大変だが、守ることが大切であると思う。町ではどのような取り組みを考えているのか。					